

森林整備事業における



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

コスト低減の取組について

近畿中国森林管理局管内の国有林は、伐採期を迎えた高齢級のスギ、ヒノキの人工林が年々増加することから、二酸化炭素吸収量の低下が見込まれます。このため、将来にわたる二酸化炭素吸収作用の保全および強化のため、公益的機能との調和に配慮し、成熟した木材等資源の効率的な循環利用を考慮しつつ、主伐後の再造林を推進することとしています。

この人工林資源を有効に循環利用し、地域における森林・林業の活性化を図る観点から、伐採後における森林整備事業のコスト低減を図ることが国有林のみならず民有林においても重要な課題となっています。

そのため近畿中国森林管理局管内の国有林において、コスト低減に向けた取り組みを実践し、民有林へ普及させることが「わたしたち国有林の果たすべき使命」であると考えています。

○コンテナ苗

コンテナ苗は、普通苗と比較して、植え穴が小さく植付が簡易かつ効率的で、四季を通じて植栽が可能で活着率が高いなどの利点があります。一方でコンテナ苗の価格は普通苗と比較して割高であり、民有林への普及が進んでいない状況にあります。

しかしながらこの価格差については、伐採と造林を組み合わせた「一貫作業システム」の導入により、トータルコストで補えるものと考えています。



一貫作業システムのイメージ



○シカ食害防護対策

シカによる植栽木の被害については、年々増加傾向にあり、その対策として植栽区域の周囲に柵を設置する「防護柵設置」および、植栽木一本ごとにチューブで覆う「単木保護チューブ」を実施しています。

しかしながら、シカ対策については、未だ効率的かつ経済的な防護対策が確立していないため、それぞれの防護効果を検証しつつ、またコストの低減を図る観点からも取り組んでいます。



ニュース

『ニッセイ多賀の森』育樹活動

【滋賀森林管理署】 4月16日（土）、滋賀県犬上郡多賀町のハツ尾山国有林にある”ニッセイ多賀の森”において、ニッセイ緑の財団主催および”ニッセイの森”友の会による育樹活動が行われました。当日は、ニッセイ緑の財団、”ニッセイの森”友の会会員・家族の皆様など68名の方が参加しました。

現地は、平成9年3月、1.77haにヒノキ、ケヤキ、サクラ、カエデを植え付けし、これまで下刈、除伐などの保育を行ってきていますが、当日はヒノキ植栽箇所の枝打ちを実施しました。

冒頭、”ニッセイの森”友の会の山内副会長、石上署長の挨拶の後、片桐森林整備官から、枝打ち作業の手順や安全上の注意点などの説明を行いました。

その後、参加者が6つの班に分かれて山に入りましたが、事前にびわこ東部森林組合の皆様が歩道を整備してくださっていたおかげで、スムーズに現地へ入ることができました。

最初は慣れない山の斜面での作業に戸惑う様子も見られましたが、鋸で1本1本枝打ち作業を行っているうちに次第に調子が出てきたようです。



1時間弱の作業でしたが、高さ数メートルに育ったヒノキ林の枝打ちが無事完了しました。当日は、すがすがしい好天に恵まれ、さわやかな汗を流すことができたという感想が聞かれました。

参加者の皆様が、今回の育樹活動をきっかけに森林の大切さに思いを持っていただくことを願うとともに、また、定期的な活動を続けていくことができればと思っています。

参加者の皆様、今回の育樹活動をきっかけに森林の大切さに思いを持っていただくことを願うとともに、また、定期的な活動を続けていくことができればと思っています。

近畿中国森林管理局に
12名が入庁

【総務企画部 総務課】 4月4日（月）、近畿中国森林管理局大会議室において、平成28年度新規採用者12名の入庁式を行いました。

入庁式では、馬場局長から「皆さんは難しい公務員試験に合格され、この4月から晴れて林野庁近畿中国森林管理局の一員となりました。希望に胸をふくらませておられることと思います。職員一同、暖かくお迎えいたします。このたび、12名の若い方が加わっていただけることは喜ばしい限りであり、皆さんが持っている力を大いに発揮していただくことを期待しております。皆さんが入庁されるにあたり、お願いしておきたいことを3つ、申し上げておきます。

第一に、組織の一員であるという自覚をもっていただくことです。

第二に、現場を回すことに心を砕いていただきたい、ということです。

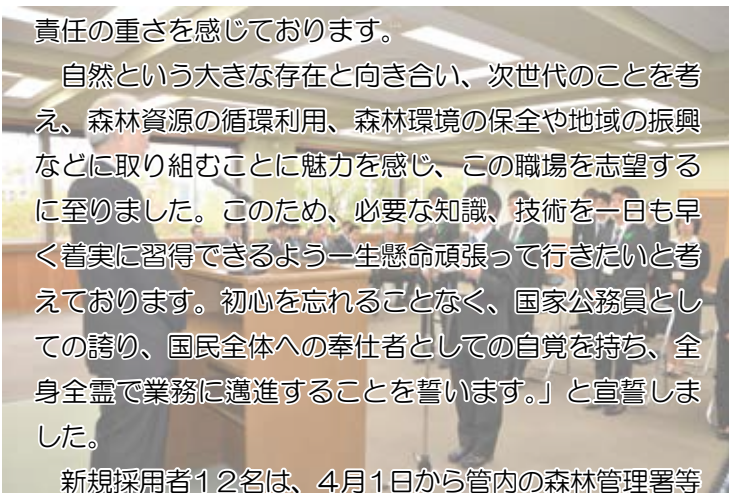
第三に、コンプライアンス、法令順守を心がけていただくことです。

困ったことはくれぐれも一人で悩まないようにして下さい。仕事は組織ですものなので、困ったときは上司に相談して下さい。上司、先輩は、みんないい人ばかりですので、仕事以外のことについても困ったことがあれば相談にのってくれます。やりがいのある、楽しい職場だと思いますので、健康に気をつけて、事故のないよう、職務に精励していただきたいと思います。」と、訓示がありました。

局長訓示の後、新規採用者を代表して兵庫森林管理署の村上 周さんが「国有林で働けることに大きな希望と責任の重さを感じております。

自然という大きな存在と向き合い、次世代のことを考え、森林資源の循環利用、森林環境の保全や地域の振興などに取り組むことに魅力を感じ、この職場を志望するに至りました。このため、必要な知識、技術を一日も早く着実に習得できるよう一生懸命頑張りたいと考えております。初心を忘れることなく、国家公務員としての誇り、国民全体への奉仕者としての自覚を持ち、全身全霊で業務に邁進することを誓います。」と宣誓しました。

新規採用者12名は、4月1日から管内の森林管理署等に配属され、それぞれの職場で活躍することになります。



お知らせ

森林のギャラリー(局庁舎1階)

【5月のテーマ：団体等の取組紹介】

5/16～5/30

森林に憩う - 「高野山千年の森」森林セラピー
【高野山寺領森林組合】

5/17～5/27

国有林・近江八幡市「伊崎ふれあいの森」森林整備活動
【ヒマラヤン・グリーン・クラブ】

5/25～5/31 木のぬくもり展9 【木さく会】

【6月のテーマ：自由展示】

6/1～6/7

生前の遺作展(油絵) 【バオバブ絵画教室・陶芸教室】

林野庁業務説明会(現地見学)
のご案内～鳥取森林管理署～

国家公務員(本年度の一般職(大卒程度))を目指している方、実際に国有林の現場を見学して林野庁の魅力を実感してください。

* 日時

7月9日土曜日 8時30分～12時30分

* 場所・内容

鳥取県鳥取市猪呼谷国有林
搬出間伐、森林作業道、植栽の施業箇所

* 当日の予定

午前8時30分 鳥取大学正門に集合。
現地まで、鳥取森林管理署の車で往復。
(平成25年度採用職員が同行し、質問等にお答えします。)

* 申し込み方法

7月1日金曜日までに電話でお申し込みください。
月曜日～金曜日 8時30分～17時00分
鳥取森林管理署 総務グループ 担当：竹中、生島
TEL：0857-23-5411

* その他

雨天の場合等は、順延等について参加者のご相談のうえ決定します。

HP：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/tottori/information/event/2016_gyomusetumeikai.html

みのお森のセラピー

癒しの森で【こころ】と【からだ】をリフレッシュしませんか！

* 日時 5月29日(日) 10時～13時頃

* 参加費 お一人 2,500円(当日支払)

* 募集人数 15名(先着順)

* 締切 定員になり次第、又は27日正午

* 持ち物・服装

動きやすい、服装・靴でお越しください。
お弁当、水分、雨具、大きめのシートなど

* 申し込み・問い合わせ

NPO法人 みのお山麓保全委員会

TEL・FAX：072-724-3615

E-mail：yama-nami@yama-nami.net

HP：<http://yama-nami.net/>

* その他、下記HPで詳細をご確認ください。

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/h28-hureaisuisinnzigyoku.html

花草木

今月の花草木は「フジ(藤)」です。

フジは、マメ科フジ属のつる性落葉木本です。
日本固有種で、本州・四国・九州の温帯から
暖帯に分布し、低い山地や平地の林で普通に見
られます。

フジは強い日当たりを好むため、公園や庭園
などの日光を遮るものがない場所に、木や竹、鉄
棒などで藤棚と呼ばれる木陰を作る場合が多く、
園芸品種も多くあるそうです。

フジの花はうすい紫色で、藤色の色名はこれに
由来し、花は天ぷらなどにすることができます。

シリーズ『国有林 最前線!』

森林官からの便り 京都大阪森林管理事務所 首席森林官（上賀茂・綾部担当区） 進藤 栄治

上賀茂森林事務所は上賀茂担当区（京都市北部）、綾部担当区（亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市（一部））を管轄しています。

造林、木材生産、林業専用道の新設、治山工事、民有林との連携、イベント、国有林野の利活用等、国有林野事業で行う業務のほとんどを担っています。

その中でも、近年はニホンジカの捕獲による個体数管理に力を入れています。

植栽木の食害や樹木の剥皮被害などニホンジカによる森林被害は深刻な状況です。もちろん農作物にも被害を与えています。

京都市の街中にも出没しています。ニホンジカが国有林から民家に侵入し、大切に育てた庭木を食べるので何とかしてほしいと要望もいただきます。

それらの対策として、平成24年度から貴船山・鞍馬山国有林において、くくり罠による捕獲を開始しました。その後、地域を拡大していき、また、囲い罠を導入するなど対策を拡充しています。

京都大阪所内職員や地域住民に協力していただきながら見廻りを実施し、ニホンジカが罠にかかっていたら、地元猟友会に依頼し、処理してもらいます。

昨年度は上賀茂部内で、40頭のニホンジカやイノシシを捕獲しました。

でも、本当は捕獲したくはありません。ニホンジカにしてみれば、悪いことをしているわけではないのです。ニホンジカを捕獲したところに初めて立ち会った日は、ニホンジカの夢を見てうなされました。

人とニホンジカが共生できれば良いのですが、現状では、捕獲し、頭数を減らすことが一番の対策なのです。

ニホンジカの捕獲だけではなく、各種の業務において、様々な問題が起こりますが、知恵を絞り、一歩ずつ前進していくことにやり甲斐を感じながら、楽しんで仕事に取り組んでいます。

さて、京都府では「海の京都（京都府北部）」「森の京都（京都府中部）」「お茶の京都（京都府南部）」と銘打ち、古都京都だけではない京都の魅力を発信しています。昨年の「海の京都博」に続き、今年は「森の京都博」が開催されています。10月に行われる全国育樹祭をメインに、各地で様々なイベントが開催されています。

ぜひ、「森の京都博」におこしやす。



鴨川に現れたシカ
(4月14日京都市上京区丸太町橋付近)

湯木の釜峰さん 釜ヶ峰山国有林（庄原市口和町） 広島北部森林管理署

平成17年3月の1市6町による広域合併により広島県下最大面積の庄原市が誕生しました。このうちの旧口和町には、田園地帯から見事な山容が望める釜峰山（788m）があり、うち山頂を含む一帯の522haに釜ヶ峰山国有林が所在しています。



釜峰神社

この釜ヶ峰山国有林には、「釜峰さん」「天狗さん」と呼ばれる地域に親しまれている釜峰神社があります。釜峰神社は、室町・戦国の時代に当地に居城を構えた湯木氏が、守護神として祀ったとの言い伝えがあり、軍神として信仰され、戦前、戦中は必勝祈願の社として多くの出征者が参拝に訪れていました。戦後、火災による消失等で荒廃しましたが、現在では地域の方々により神社や周辺の整備が進められ、毎年4月29日に行われる天狗社大祭をはじめ、年間を通じ、遠路からの参拝者が訪れています。

特に、釜峰神社、山頂展望台（本丸跡）に通じる登山道沿いの国有林には、国内でも稀有な樹齢130年を超えるアベマキの巨木群があり、「釜ヶ峰林木遺伝資源保存林」（保護林）として管理しています。

また、この国有林の一部は、ふれあいの森（「ふれあいの森釜峰山森林浴公園」）として地元住民等の森林整備活動や森林浴、森林教室などのフィールドとして利用され、地域の方々や森林ボランティア団体等と連携してその活動に取り組んでいます。

釜ヶ峰山国有林を含むこの地域一帯では、平成26年8月に集中豪雨で溪流荒廃等が発生し、下流の神社等に被害が生じたため、平成27年度に治山工事を施工しました。施工にあたっては、復旧のみならず周辺の景観にも配慮した木製谷止工を採用し、施工中には地元関係者や県、土木業者等を対象とした現地見学会を開催するなどして、治山事業のPRや木材利用の普及を図る取り組みなども行いました。

歴史があり、地域にも親しまれて貴重なアベマキ林を有する釜ヶ峰山国有林において、今後とも多くの方々と一緒になって森林の育成や森林とふれあう活動を行うとともに、治山施設の整備等による災害に強い森林づくりを進めて参りたいと考えています。



釜峰山の山容



森林教室



木製谷止工現地見学会

平成28年熊本地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。